

1. 活動目的

教育評価・FD 部門は、本学の基本理念の実現に向けて、教育効果を検証し教育システムを改善するための研究、企画、立案することを目的とする。この目的を達成するために、教育評価についての研究・実施及びFD・教育改善の推進を中心に以下の5点について平成20年度は重点的に取り組んだ。

(1) 授業アンケート

全教員を対象とする授業アンケート調査を通じて授業改善に必要な情報を収集・フィードバックし、さらに継続的なモニタリングによってFD活動を支援・企画した。

(2) コンサルテーション

希望に応じてセンター教員による授業見学や授業記録の作成などのコンサルテーションを提供した。

(3) 各種セミナー企画・実施

学内のニーズや高等教育を取り巻く情勢の変化を反映したFDセミナーやワークショップの企画・実施、並びに新任教員研修、SD研修、TA研修を企画・支援した。

(4) 出口調査

卒業生・修了生および受け入れ先企業を対象とした意見聴取を行い、カリキュラム改善に必要なデータを提供した。

(5) 自己点検活動の支援

法人評価や認証評価に対して必要となる教育に関する自己点検評価活動を支援した。

2. 組織と構成

教育評価・FD部門は2名の専任教員と部局から選ばれた3名の兼任教員（うち1名は部門長）からなり、事務は大学教育センター担当室が担当した。

3. 活動報告

1) TAセミナー

4月および9月に新規採用となったTAを対象とした研修会を環境安全・衛生管理チーム浜田専門委員の協力を得て実施した。参加者数は4月8日小金井キャンパス2回計253名、4月9日府中キャンパス105名、9月30日小金井キャンパス64名、同日府中キャンパス64名であった。研修会は、講義「TAの仕事とは何か」（調専任教員）、安全教育「事例紹介：実験・実習を安全に行うために」（浜田専門員）、ワークショップ「TA業務の実際」（大学教育センター教員）からなるものであった。

2) 新任教員研修会

4月24日に過去一年間で新規に採用された教員を対象とした研修会を府中キャンパス50周年記念ホールにて開催した。参加者は19名で、途中昼食を挟んで10時から15時半の長時間に渡るプログラムを修了した。昼食時に新任教員と学長の懇談が行われたほか、梅田大学教育センター長の開会の挨拶に続いて、6つの講演（「東京農工大学を知る」（笹尾副学長）、「学生とのよりよい関係をめざして」（早川保健管理センター教員）、「大学における教育研究」（千葉産官学連携・知的財産センター長）、「2007年度BT賞教員講演」（滝山BASE教員）「講義の秘訣とシラバス」（調専任教員）、「教育のためのICTの活用」（加藤専任教員・江木総合情報メディアセンター教員））と参加型のワークショップ（「よい授業を実現するために」（加藤専任教員））という盛り沢山な内容であった。

3) 授業アンケート

前期と後期に、授業アンケートを配布し、回収・集計した。前期の実施科目は349科目（うち回収・集計・返却は318科目）、後期は171科目（うち回収・集計・返却126科目）であった。また、中間アンケートを実施する体制を試行的に整備し、希望する教員に対して、後期22科目で実施した。あわせて、授業アンケートを活用した授業改善をさらに進めることを目指し、担当WGと協力して授業アンケートの実施要領案を作成し、大学教育委員会に提案した。実施要領は、修正を経て証印され、後期より適用される。

4) 話し方スキルアップ講座

昨年度に引き続き、本学卒業生で元アナウンサーの小田切めぐみ氏を招き、9月16日に府中キャンパスで(参加者14名)、また11月4日には小金井キャンパスで話し方スキルアップ講座(参加者14名)を開催した。昨年度に引き続き参加者から高い評価を受け、来年度より新任教員研修にも導入することを検討している。

5) eラーニングセミナー

2008年12月25日(木)と26日(金)の2日間、総合情報メディアセンターと大学教育センターの共催で、eラーニングセミナーを開催した。小金井キャンパス8号館と府中キャンパス新2号館のメディアセンター端末室を会場とし、学習管理システム moodle の利用方法について1時間程度の実習を行った。両日とも午前と午後に講習を行い、合計で18名の教職員とTAが集まった。今回のセミナーでは3名の学生アシスタントが実習のサポートを担当した。

6) 八王子セミナーハウスと「第3回大学教職員のためのFDセミナー」共催

12月12日(金)午後1時から午後5時まで、東京農工大学の50周年記念ホールにおいて、第3回大学教職員のためのFDセミナー「ティーチング・ポートフォリオって何だろう」を開催した。遠くは仙台、金沢などからの参加者を含め、約30名の教職員の参加があった。講師に、大学評価・学位授与機構の栗田佳代子准教授を迎え、ティーチング・ポートフォリオの作成ノウハウをワークショップ形式で学んだ。さらに、本学・大学教育センター加藤専任教員からFD Commons (eティーチング・ポートフォリオ) についての紹介があった。

7) 講義秘訣集の出版

最近数年間で蓄積されてきた授業アンケートのデータをもとに、よい授業の特徴、および本学学生から改善要望としてあげられている内容を整理した。さらに、講義で様々な工夫を行っている教員の皆様にご協力をいただき、講義を楽しく有意義なものとする具体的なノウハウの収集を行った。これらをまとめた講義秘訣集の暫定版を4月に作成し、新任教員研修会で配布した。この暫定版に、平成11年度から工学部で行われている教育褒賞制度(BT賞)で表彰を受けた先生の「講義の工夫」および、新任研修会での講演資料を加えた完成版を作成し、今年度中に出版する。

4. 専任教員プロジェクト

1) 調教員

大学教育センターとして学科のニーズを把握し、今後のFD部門の活動に反映することを目指して、農学部・工学部の学科長を対象としたインタビュー調査を企画した。対象学科は全13学科であり、日程調整がうまくできなかった1学科を除く12学科で調査を実施した。結果は部門内で共有しており、具体的に今回の結果を活用した施策を実行することが来年度の課題となる。

2) 加藤教員

ICT (Information Communication Technology) を利用したFD活動の展開をテーマに、教員向けICTセミナー企画、および授業観察システム(FD Commons)の開発をすすめている。FD Commonsは、マイクロソフト・リサーチ・アジア(MSRA)「ユビキタス環境における相互授業観察による電子教育ポートフォリオ構築に向けたタブレット型PC利用」、および、第26回カシオ科学振興財団「電子ティーチング・ポートフォリオによる教授知識の共有化—授業ビデオとコメントを利用した評価指標」(人文社会分野)から研究助成を受けて、開発研究を行っている。

平成20年度 教育評価・FD部門活動報告

月	日	運営委員会 専任教員会議・部門会議	シンポジウム・セミナー・ワークショップ等
4月	8日		前期TAセミナー：工253名
	9日		前期TAセミナー：農105名
	22日	教育プログラム・FD部門合同会議	
	24日		新任教員研修：本19名
5月	11日		八王子セミナーハウスFDセミナー講演
	27日	教育プログラム・FD部門合同会議	
6月	5日	授業アンケートあり方検討WG	
	23日		BT受賞者公開授業に参加：1科目
7月	6/30～22日		前学期授業アンケート：411科目18,494件
	7日	教育評価・FD部門会議	
9月	8日	教育評価・FD部門会議	
	16日		コミュニケーション・スキルアップセミナー：農14名
	30日		後期TAセミナー：農12名、工64名
10月	15日	教育評価・FD部門会議	
11月	4日		コミュニケーション・スキルアップセミナー：工14名
	17～21日		後学期中間授業アンケート：22科目1,053件
	19日	教育評価・FD部門会議	
12月	12日		TAポートフォリオセミナー
	19日	教育評価・FD部門会議	
	25日		eラーニングセミナー：工3名、農3名
	26日		eラーニングセミナー：工6名、農5名
1月	13～2/2日		後学期授業アンケート：175科目5,425件
	13～3/31日		卒業時アンケート
	21日	教育評価・FD部門会議	
2月	12～3/31日		卒業生インタビュー
	18日	教育評価・FD部門会議	
3月	3日	授業アンケート専門部会	
	9日		前学期シラバス入力依頼の配布
	18日	教育評価・FD部門会議	
	31日		講義秘訣集発行(予定)